

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境			3.1	0.15	2.9	1.00		3.0
1.1 騒音			3.0	0.40	3.0	0.40		
1.1.1 騒音								
1 暗騒音レベル			3.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策			-	-	-	-		
1.2 遮音			4.4	0.40	3.9	0.40		
1 開口部遮音性能		サッシの遮音等級: T-2採用	5.0	0.40	5.0	0.30		
2 外壁遮音性能		遮音等級Dr45(遮音性能TLD値56)程度	4.0	0.60	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			2.1	0.35	2.4	1.00		2.2
2.1 室温制御			3.2	0.50	3.8	0.50		
1 室温設定			3.0	0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能		外皮に断熱施工(硬質ウレタン吹付け)、複層ガラスの採用	4.0	0.25	5.0	0.43		
4 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式			1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境			3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
3.1 昼光利用			4.2	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		[共]1階レストラン昼光率3.15% 2.5%、1階訪問診療室4.5% 2.5% [住]6階C2タイプ昼光率4.95% 1.25%	5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口			-	-	-	-		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			4.0	0.30	4.0	0.30		
1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
2 昼光制御		ブラインド・カーテン+バルコニ 庇によりグレアを制御	4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
1 照度			3.0	1.00	3.0	1.00		
2 照度均斉度			-	-	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気環境			3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		規制建材は全てF を使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
4.2 換気			2.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		[住]6階C2タイプガラス開口面積/室面積 = 1.6*2/36.0 = 0.178 > 1/10	-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33		
4 給気計画			-	-	-	-		
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		2.8
1 機能性			2.2	0.40	3.8	1.00		2.9
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.60	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		[住]C2タイプ1DK専有面積(1人当たり) = 36.0m ² > 10m ²	-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-		
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			1.0	0.40	2.0	0.40		
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-		
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理			-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.0	0.31	-	-		3.0
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-		
1 耐震性			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気ダクトにステンレスダクト使用し長寿命化を図っている	4.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		衛生設備のみの評価で上位2種(給水、排水)でC以上の管種使用	4.0	0.15	-	-		

	6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.23	-	-	
--	---	---------------	-----	------	---	---	--

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備を設けている。浸水の可能性がない	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化を図っている。浸水の可能性がない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.2	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	1.4	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部分(1階全体)0.1 壁長さ比率 0.29 < 0.3	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制		PAL値 = 233.4 基準値(340)の25%減	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		設備システムの高効率化を図り消費エネルギー量が少な ERR=38.4	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	たたみボード、木毛セメント板	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が比較的容易に分別可能(GL工法・リフト吹付)	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2が一般値の65%(35%減)	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	荷捌用の駐車施設の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	